蝶と蛾 *Trans. lepid. Soc. Japan* **47** (2): 106-107, June 1996

ヤマキマダラヒカゲの「中国東北地方産」の標本について

高橋　真弓
420　静岡市北安東 5-13-11

On the specimen of *Neope niphonica* Butler (Lepidoptera: Satyridae) labeled to be collected in the Northeastern District of China

Mayumi TAKAHASHI

Kita-Ando 5-13-11, Shizuoka-shi, 420 Japan

Abstract A specimen of *Neope niphonica* Bulter labeled to be collected in the Northeastern District of China, preserved in the Osaka Museum of Natural History, was examined. The data of label seem erroneous and this specimen was probably collected in the central part of Japan.

Key words *Neope niphonica* Butler, the Northeastern District of China, the central part of Japan.

ヤマキマダラヒカゲ *Neope niphonica* Butler, 1881 の確実な分布地域は広義の日本列島に限られ, サハリン中部以南, 北海道, 南千島, 本州, 四国, 九州と周辺離島の一部である.

日浦 (1969) は, 大阪市立自然科学博物館 (現市立自然史博物館) に保存される中華人民共和国東北地方で採集されたという本種の標本について, 次のように述べている. 「……外国産標本として, "Kirin Manchoukuo 1941-VII-17" のラベルのついた 1♂がある (ジャクレー・コレクション). キマダラヒカゲの朝鮮・満州からの記録は誤報であって, 日本海の大陸側の分布は否定されているが (白水, 1947), 念のため付記しておく. これは明瞭にヤマ型の特徴をしめす標本である. 」

筆者は大阪市立自然史博物館に保存されている標本を調査して写真撮影を行った. この個体の特徴と採集データは次のとおりである.

①ラベルには "*Neope goschkevitschii*, Kirin Mandchoukuo 1941. VII. 17" と書かれており, この個体は比較的新鮮なヤマキマダラヒカゲの夏型♂である. 右側の前翅は蛹の変形のためか十分に伸びきっていない. Kirin は吉林, Mandchoukuo は "満州国" を意味する. なお, この標本について, 筆者は春型♂として記したことがあるが (高橋, 1979, 1988), これは夏型♂の誤りであるので訂正する.
②前翅長は測定していないが, 大きさは日本の本州中部-関東地方産の夏型の標準個体よりいくらか小型である.
③斑紋の特徴は, 表面・裏面とも本州中部地方から関東地方に見られる夏型♂のそれと同様で, この個体をこれらの地方の夏型♂と識別することは, まず不可能である.

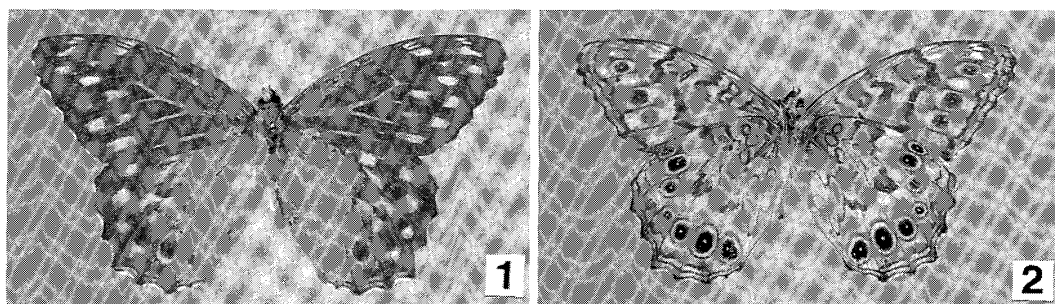
次に, 上記のヤマキマダラヒカゲの標本が実際に中国の東北地方で採集された可能性について検討する.

本種が中国の東北地方で採集されたことを納得するには, 一般に次の二つの条件が必要と考える.

①本種の基本的食草となるササ属 (*Sasa*) または近縁のタケ科植物が分布すること.

②成虫の斑紋に日本産とは明らかに異なった地理的変異が見られること*.

---

* 本種は日本列島において多様な地理的変異を示し, 3 亜種に分化し, 原名亜種の中にもより軽微な地理的変異を含む.

Figs 1-2. A male (summer form) of *Neope niphonica* Butler, 1881, labeled to be collected in the Northeastern District of China, preserved in the Osaka Museum of Natural History, Osaka, Japan (1 : upperside, 2 : underside).

これらの二条件のうち，①については，中国東北地方にはこれらの植物は分布せず（鈴木，1978)，②についても，問題の標本に関する限りまったく否定的である．ただし，①については，本種は日本列島において，ササ属を含むタケ科植物のないところでは例外的にススキを食べていることがあるので，万一本種が中国東北地方に分布していることが明らかになれば，その可能性について考慮する必要があるかもしれない．また，採集月日が7月17日というのは，日本列島で夏型の羽化期が比較的早い屋久島や南九州霧島山のことを考慮に入れても異常に早いということを指摘しておきたい．

いずれにしても，以上に述べたことから，ヤマキマダラヒカゲが中国東北地方に分布する可能性はきわめて低く，また上記の標本が同地で採集されたとは考えにくい．したがって，筆者は上記のジャクレー•コレクションの中にあるヤマキマダラヒカゲの標本は，おそらく日本列島において，本州の中部-関東地方のどこかで採集されたものであり，この標本に中国吉林省産の他の標本のラベルが誤ってつけられた可能性が大きいと考える．

謝　辞

この報告に当たり，標本調査と撮影について大変お世話になった大阪市立自然史博物館の金沢至，宮武頼夫の両氏にあつくお礼を申しあげる．

文　献

日浦　勇，1969. 日本列島の蝶（第1部）．大阪市立自然科学博物館収蔵資料目録 **1**: 1-120, pls 1-10.
鈴木貞雄，1978. 日本産タケ科植物総目録．384 pp. 学習研究社，東京．
高橋真弓，1979. チョウ—富士川から日本列島へ．243 pp. 築地書館，東京．
———, 1988. 日本産蝶類の近縁種をめぐる問題—*Mycalesis* と *Neope* の場合—．日本鱗翅学会特別報告 (6): 1-34.

Summary

A male specimen of *Neope niphonica* Butler, 1881 (Satyridae) labeled as "Kirin Mandchoukuo, 1941. VII. 17" is preserved in the Osaka Museum of Natural History. However, because of the lack of *Sasa* vegetation in that district and the characteristics of the geographical variation in wing pattern of this specimen, the specimen was probably collected not in the Northeastern District of China but in the central part of Japan.

(Accepted February 9, 1996)

Published by the Lepidopterological Society of Japan,
c/o Ogata Building, 2-17, Imabashi 3-chome, Chuo-ku, Osaka, 541 Japan